

高美小学校内 TM だより

R8.1.19.NO.25

2年1組の国語の授業におじゃましました。

★Yチャートで初発の感想★

「みきのたからもの」の一時間目でした。子どもたちは授業の最初から「今日から「みきのたからもの」やんな?」「なんか宇宙人出てくるんやろ!」と、学習が始まるのをすごく楽しみにしている様子でした。今日は学習のはじめなので、初発の感想を書く時間でした。2年生では、2学期からずっと、右の写真のようなYチャートで初発の感想を書く活動を続けています。ある子に「どう?慣れてきた?」と声をかけると「おもしろいと思った文を探すのが難しいねんけど、あとはいっぱい書けるよ。」と教えてくれました。感想をもつことはできるけど、それをどこに分類するかを考えるのが難しそうです。子どもたちは真剣に教科書を見つめながら、範読を聞いていました。中には、メモをとるようにYチャートに書き込む姿も見られました。範読が終わると、それぞれが書く時間がありました。田村先生は「おもしろい文というのは、書き方、表現の仕方がおもしろいってことだよ」「ふしぎに思ったところには、みんなで考えたら面白そうだと思うことを書くんだよ」と、声をかけ、手が止まってしまう子が出ないように工夫されていました。結果、どの児童もYチャートに感想を書き込むことができました。

★全体交流★

全体で「ふしぎに思ったこと」について交流しました。田村先生は、時折、「みんなだったらどうする?」など問いかけ、子どもたちがより深く考えるきっかけを作っておられました。誰かが発表するたびに「俺も同じこと思った!」「確かに。なんでやろう…。」と反応する声がたくさん聞こえてきました。「それは読んでもわからへんのちゃう?」とつぶやく子もあり、少しずつ問いの質について考える力が育ってきているのではと感じました。後半には、物語を深く読むうえで重要なはてなをみつけているけれど、発表することが難しかった子を指名し、全体に広げるシーンも見られました。

～まとめ～

次時では、単元計画を立てるそうです。これまでは、出てきたはてなを先生がまとめておられました。今回は、子どもたちで話し合いながらはてなを精査し、単元計画をたてていく、とのことでした。想像しながら話すことしかできないものと、本文を読み深める中で解決できそうなものと、子どもたちがどのように分けていくのか楽しみです。はてなの質を意識することにつながりそうです。田村先生、2年1組のみなさん、ありがとうございました。

